

JICA「ベトナム コミュニティ防災」研修 現地案内

日時：2012年12月4日(火) 13:40～16:00

場所：六甲砂防事務所、千丈谷えん堤（住吉川上流）など



砂防事業の説明

JICA（独立行政法人国際協力機構）が行っている「ベトナム コミュニティ防災」研修の一環として、ベトナムから研修生 6 名が六甲砂防事務所を来訪されました。

事業の説明では

「砂防えん堤は土石流が発生した時、実際に効果があるのですか？」という質問が出され、昭和 13 年（阪神大水害）に大きな被害を受け、その後砂防えん堤を設けたことで、昭和 42 年（7 月豪雨）には被害が抑制されたことを説明しました。

また、ソフト対策の取組みについても興味があるということから、土石流発生感知装置（ワイヤーセンサー）や土石流監視カメラ（ライブカメラ）、雨量計などを整備していることを説明しました。

その後の現地案内では千丈谷えん堤を見ていただき、ワイヤーセンサーが土石流を感知した時にはサイレンが鳴り、周辺住民のみなさんに危険を知らせることを説明しました。



土石流実験



千丈谷えん堤



うずもりだい
渦森台地区斜面对策